

環境の都ニュース

2016.1.1 NO. 85

“環境の都”を
めざして

発行

長岡京市環境の都づくり会議

責任者：江川 宗治

編集者：西村日出男

新年明けまして おめでとうございます



平素は環境の都づくり会議の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年11月末からパリで196カ国・地域が参加して協議された国気候変動枠組み条約連第21回締約国会議(COP21)は大変難航して、12月12日漸く「パリ協定」が採択されました。

今世紀後半に世界の温室効果ガス排出量を実質的ゼロを目指し、発展途上国も含めた取り組みが必要となります。今や環境問題は地球規模で考え行動する時代ですが、先ずは我々市民が身近で出来ることを皆で協力し合ってその輪を広げていくことが大事であり、今年も楽しい環境保全活動を工夫しながら継続して行きたいと考えます。

当市が一日も早く『環境の都』という名称に相応しいまちと認められますように願いまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

長岡京市環境の都づくり会議
代表 江川 宗治



皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

私は、市長就任以来この1年、市政の進展と八万市民の未来のために、全力を尽くしていくかなければならないという職責の重さを痛感しながら走り続けてきたとの実感を持っております。

私は、市政運営の方針として、徹底した対話を重視したいと考えております。市民や団体の皆様と対話をを行い、課題の発見、抽出と解決に向けた取り組みを双方向の対話を通じ、つかみ取ってまいりたいと考えております。まちの課題について、他人事ではなく自分事として向き合い、みんなでつくる、みんなで育てる、みんなで支える市政運営を行ってまいる所存であります。

今後も環境の都づくり会議の皆様をはじめ市民の皆様お一人お一人の力を借りしながら“環境の都”長岡京市を目指したまちづくりに邁進してまいりたいと考えております。

皆様にとりまして、この新しい年がより佳き年でありますよう心から祈念いたしまして、私たちの新年のご挨拶とさせていただきます。

長岡京市長 中小路 健吾



絵 奥西弘武



長岡京市環境フェア 2015.10.3.



西代公園(仮称)



「すくすく教室」とは、国、京都府、長岡京市が共同で、放課後や土曜日の子供たちに、様々な学びや体験の場を提供する取り組みです。平成19年度から始まり、現在は長岡京市の全10小学校で取り組まれています。

長岡京市環境の都づくり会議は、科学遊び(エコチーム)、自然観察(竹林再生、ビオトープチーム)を主体に子供たちの指導、教育を実施してきました。協力者との輪も広がり、「子供たちから元気をもらっている」と大人も笑顔です。保護者の皆さんからは暖い指導や見学への感謝の声をもらっており、住民同士の新たなつながりも生まれました。 (文: 小根田 勝信)

(文：小根田 勝信)

筍堀やフィールドアスレチックで遊ぼう！

私共は市内7ヶ所の放置竹林の整備を手始めに、多くのボランティアと共に“長岡京竹あそび”を共催しています。一方、子供達向けに筍堀体験や竹林を利用したアスレチックでくすぐり教室を開き自然の中で学び遊ぶ楽しさを体得してもらっています。右の写真は長岡第四小学校での出前授業の風景です。3年生 60人ほどが竹の勉強をしていました。



左は金ヶ原いこいの森のフィールド
アスレチックでの一コマです。
他にも楽しいお遊びがいっぱいです。
来年からは地域の子供達や市民団体に
も開放したいと考えています。竹林整
の方、ぜひ、一度覗いて下さい。



竹林再牛PJT 湯川 圭造

自然観察の内容



春のタケノコ堀・・・長岡市の特産品であるタケノコを子供たちに実際に掘ってもらい、自然のめぐみと農家人達の苦労を体験して学んでもらう指導をしています。

初夏から秋の小泉川の自然観察・・・西山から桂川にそそぐ7kmあまりの小さな川ですが、1級河川です。水も冷たく石をめくればサワガニ、岸辺の草むらにアミを入れるとドンコ、カワムツが出てきます。採れた時の感動をあじわってもらいます。

夏から秋にかけて憩いの森で自然観察とアスレチック・・竹の侵略で自然の

バランスが崩れてきた雑木林を整備し、小鳥たちが来る実のな所を作り、自然の中でのびのびと過ごせる環境を作りました。

秋から冬にかけての竹炭焼きの体験・・放置竹林で伐採した竹の有効利用として竹炭作りを子供たちに体験してもらい、温暖化防止に樹木が必要なことや生態系の大切なことを紙芝居で教えます。



ビオトープ PJT

小泉川上流で川遊び、粟生竹林で竹炭焼き体験！！

私達は放置竹林で排出された竹材を使って竹炭を焼いたり、各所にビオトープを作ったり、川の生き物調査をしたりして、生き物が共生できる環境の保持に努めています。そして、**小学生**の皆さんと一緒に環境の勉強や自然を相手に遊んだりしています。例えば、竹藪では竹



炭が出来る仕組みや炭の働きを勉強し、竹で花瓶やおもちゃを作ります。竹の弓矢や紙飛行機などでも遊びます。

川では水生生物を調べたり、小魚やサワガを捕まえたりして、川遊びを満喫します。

是非、遊びに来てください。一緒に自然の大切さを勉強しましょう！

「オトープPJT 神川 忠



環境科学あそび



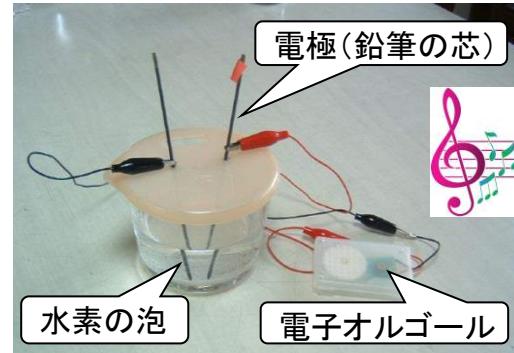
エコチームPJT



今、地球温暖化はどんどん進んでいます。そのスピードを遅らせるためには、私たちが日頃から環境にやさしいエコな生活をすることが必要です。

すくすく教室での「環境科学あそび」は、環境にやさしい発電を楽しく実験することで、電気を大切に使うことや電気の作り方を体

験し、日常生活に結び付けることを目的にしています。
燃料電池や、ソーラー（太陽光）発電、風力発電などを、楽しく実験してもらいます。



燃料電池のモデル実験装置

毎年、神足小学校、長岡第十小学校、長岡第六小学校の児童約400名に楽しんでもらっています。子どもたちが思いもよらないアイデアを出す度に、驚いたり頬もしく思ったりしています。皆さんも子供たちと一緒に理科の実験を楽しみませんか。

エコチームPJT 田原誠一郎

牛乳パックのソーラーハウス

PJTリーダー 加藤克己



里山再生 PJT



竹あそびのヒツジ、長岡第四小学校にお嫁入り



竹あそび(10月10日)で作成展示した竹製ヒツジが12月10日、お嫁入りしました。
すくすく教室(ものづくり教室)で1月~3月にかけて、ヤギに変身させます。3月の終業式に、2014年に取り組んだ織物(学校でワタから栽培)を背中にかけて、デビュー予定です。校庭で飼っているヤギのシロちゃんとご対面があるかも。



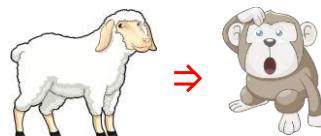
第二天神の杜

ミニクリスマスツリーづくり

12月10日、天神の杜喫茶室で小さなマツボックリを利用したクリスマスツリーづくりを行いました。ご自分でつくるのは難しい方が多いので、約60個皆さんの部屋に飾ってもらうことにしました。



もう花壇を灰皿には
させませんぞ！！



花を咲かそう PJT



緑のサポーターになって街角を花で飾ろう！

←中央公民館前広場

花を咲かそうPJT 湯川 智子/奥西 弘武

竹林や川の自然を保全する上記PJTメンバーと地域活動する女性メンバーと

が共同して長岡京市の西山公園体育館と中央公民館の花壇の植栽を行っています。さらに、それがコラボし合ってより充実した活動に発展しています。個人であっても気楽に参加できます。花を機会に色々な楽しみを見つけてください。



天空の花壇=体育館の二階庭園は
市街を見渡す絶好の景勝地です

年末には正月飾り作り会を行い、
メンバーの融和を図っています



第82回 環境教育ミーティング (平成27年度のテーマ:自然と環境)

リーダー: 西村 日出男

参加 無料

竹林と竹材の有効利活用

(竹と親しみ、昔の用途を見直そう)

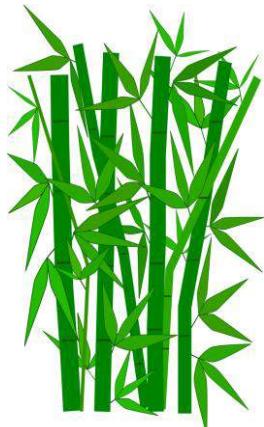
日時: 平成28年 1月 21日(木) 夜7~9時

会場: 長岡市立 中央公民館 2階・講座室

講師: 大塚正洋さん (東洋竹工(株)代表取締役、京都府竹産業振興連合会)



伝統的な竹製品を大事にするとともに、「竹で作れないものはない」をテーマに日々活動しています。今まで竹で作られたことのないものの製作、竹の工業的な利活用を目指し、今まで世の中にはないものの製品開発・販売の難しさを体験している。



バラエティ・コーナー



「COP21」パリ協定 採択される

パリで開かれていた国連気候変動枠組み条約第21回締約国会議(COP21)は大変難航したが、12月12日に2020年以降の地球温暖化対策の新たな枠組み『パリ協定』が採択された。

これにより史上初めて、温室効果ガスの排出削減取り組みに途上国も含む全ての国・地域が参加する枠組みが誕生する。各国の批准など実行に向けて課題も多いが協力し合って実現させなければならない。

(毎日新聞12/14
夕刊記事より
江川宗治)



2015年度 主要活動予定

月	共通、広報	環境教育	里山再生 西山F環境探検隊	ビオトープ	竹林再生	エコチーム 地球温暖化防止等	花いっぱい等
1月	環都ニュース発行(1/1) 環都新年会兼月例会議(1/12)	環境教育Me(1/21)	森林ボランティア(1/3) 竹林整備活動(1/17)	すぐすぐ教室炭焼・十小(1/30) 竹炭焼き(1/14, 28) 花、竹、ビオ合同PJT会議(1/19)	竹林整備活動(1/13, 18)	神足小すぐすぐ教室(1/13)	
2月	環都月例会議(2/9)		森林ボランティア(2/) 西山F環境探検隊-4(2/7)	すぐすぐ長法寺小(2/13) 炭焼き(2/11, 2/25) 花、竹、ビオ合同PJT会議(2/16)	竹林再生活動(2/1, 15, 29)	長六祭り(2/14) エコチームMe(2/)	みどりのサポーターの集い(2/)
3月	環都ニュース発行(3/1) 環都月例会議(3/8)	環境教育Me(3/17)	森林ボランティア(3/) 里山講演会(3/)	炭焼き(3/10, 24) 花、竹、ビオ合同PJT会議(3/15)	竹林再生活動(3/7, 22)	エコチームMe(3/)	“春の準備” 緑サポ(3/)

環境の都づくり会議のホームページを作りました。
各PJTの活動内容と写真などがあります。

「長岡市環境の都づくり会議」で検索して下さい。

アドレス = <http://kankyonomyako.jimdo.com/>

事務所 : 多世代交流ふれあいセンター内

〒617-0812 長岡市長法寺谷山13-1

「長岡市環境の都づくり会議」では、さらなる活動の飛躍を期して活動協賛金を募っております。

協賛金 : 一口年間1,000円（一口以上）あなたも「長岡市環境の都づくり会議」に参加してみませんか。どなたでも参加できます。連絡、問い合わせは下記の西村まで。

Tel/Fax: 075-952-3718 sun246ra@mbox.kyoto-inet.or.jp

編集後記 : 読者のみなさま方から「声」をお寄せ頂ければ、大変に励みになります。私たちはこの歴史のまち長岡市を「環境の都」にしたいとの想いで活動しています。みなさまの「五・七・五」もお寄せ下さい。P4